



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 三和ホールディングス株式会社  
 コード番号 5929 URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 高山 俊隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 山崎 弘之

TEL 03-3346-3019

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	199,167	8.3	11,064	13.6	10,786	16.6	6,945	17.1
2019年3月期第2四半期	183,911	6.2	9,741	7.7	9,248	5.1	5,933	3.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,581百万円 (34.7%) 2019年3月期第2四半期 2,659百万円 (60.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	30.95	30.87
2019年3月期第2四半期	26.37	26.31

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	341,124	158,995	46.1
2019年3月期	338,432	161,603	47.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 157,382百万円 2019年3月期 160,522百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		16.00		16.00	32.00
2020年3月期		17.00			
2020年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	425,000	3.7	34,000	7.6	33,000	8.4	22,000	5.2	97.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	235,000,000 株	2019年3月期	235,000,000 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	12,316,264 株	2019年3月期	10,020,866 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	224,439,543 株	2019年3月期2Q	224,979,663 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料の予測には、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、国内では、建設市場が堅調を維持する一方で、需給逼迫により物流費や工事費が高止まりました。海外では世界的な貿易摩擦の影響もあり、米国建設市場はやや弱含みが見られ、欧州建設市場でも成長が僅かながら減速基調となりました。

このような環境下、当社グループは、「三和グローバルビジョン2020」第三次中期経営計画の初年度を迎え、「グローバル・メジャー」としてのトップブランドの基盤を確立する2ヵ年とすることを目標にスタート致しました。コア事業の基本戦略として、国内では、各事業分野でのポジション確立を図るとともに、「動く建材企業」として、成長と事業拡大に向けた体制強化に取組みました。また、昭和建産(株)、田島メタルワーク(株)、三和電装エンジニアリング(株)、林工業(株)の4社を連結範囲に加え、更なる事業拡大のスピードアップ、連携強化によるシナジー発揮に努めました。9月末には創業116年の歴史で培われた厚い顧客基盤を持つ(株)鈴木シャッターの全株式を取得しました。米国では、基幹事業のシェア拡大のための川上営業の強化、代理店支援の促進を図るとともに、米中貿易摩擦に対応し、メキシコでの生産能力を増強しました。欧州では、産業用ドア事業拡大、ガレージドアのシェア拡大を引き続き推進するとともに、5月にはヒンジドア事業強化のため、主に北欧・英国で同事業を展開しているRobust AB社(以下、ロバスト社という。)の全株式を取得しました。併せて、工場、生産・業務効率の向上を図るため欧州全体のデジタル化を推進しました。成長事業の基本戦略として、日米欧のサービス分野の強化を推進し、国内では、法定検査のシェア拡大、米欧ではフィールドサービスシステムの導入推進を図りました。中国・アジア事業では、中国事業3社(宝産三和、安和金属、三和香港)、アジア事業1社(ピナサンワ)を連結範囲に加え、グループ各社の一体運営の強化を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期比8.3%増の199,167百万円となりました。利益面では、営業利益は、前年同四半期比13.6%増の11,064百万円、経常利益は、前年同四半期比16.6%増の10,786百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比17.1%増の6,945百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に棚卸資産の増加や新規連結に伴う固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,692百万円増加し341,124百万円となりました。負債は、主に前受金の増加等により、前連結会計年度末に比べ5,300百万円増加し182,128百万円となりました。純資産は、主に自己株式の取得や為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,608百万円減少し158,995百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.3ポイント減少し46.1%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ9,507百万円減少し38,470百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上に加え、主に売上債権の回収等により6,710百万円の資金増加(前年同四半期連結累計期間は8,433百万円の資金増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に(株)鈴木シャッター及びロバスト社の株式取得や固定資産の取得により11,029百万円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は7,306百万円の資金減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払と自己株式の取得により6,434百万円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は8百万円の資金減少)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表致しました2020年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,007	34,480
受取手形及び売掛金	82,563	79,485
電子記録債権	9,526	7,846
有価証券	8,013	8,907
商品及び製品	9,640	12,147
仕掛品	23,965	31,900
原材料	22,869	24,707
その他	6,607	11,144
貸倒引当金	△1,405	△1,585
流動資産合計	204,789	209,034
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	19,903	22,304
土地	18,505	21,547
その他（純額）	21,773	23,718
有形固定資産合計	60,182	67,570
無形固定資産		
のれん	6,769	5,974
その他	17,231	18,305
無形固定資産合計	24,001	24,280
投資その他の資産		
投資有価証券	36,949	26,878
退職給付に係る資産	6,088	6,287
その他	6,686	7,322
貸倒引当金	△265	△249
投資その他の資産合計	49,459	40,238
固定資産合計	133,642	132,089
資産合計	338,432	341,124

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,401	51,616
1年内償還予定の社債	1,500	1,500
短期借入金	6,845	7,697
1年内返済予定の長期借入金	12,045	16,107
未払法人税等	4,479	3,176
賞与引当金	5,728	5,674
その他	35,868	40,313
流動負債合計	118,868	126,086
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	10,826	6,214
役員退職慰労引当金	310	369
退職給付に係る負債	11,901	12,656
その他	4,920	6,801
固定負債合計	57,959	56,041
負債合計	176,828	182,128
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	81,741	84,704
自己株式	△8,989	△11,688
株主資本合計	151,068	151,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,219	2,328
繰延ヘッジ損益	△25	30
為替換算調整勘定	8,853	5,039
退職給付に係る調整累計額	△1,593	△1,348
その他の包括利益累計額合計	9,454	6,050
新株予約権	248	265
非支配株主持分	832	1,348
純資産合計	161,603	158,995
負債純資産合計	338,432	341,124

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	183,911	199,167
売上原価	129,986	141,801
売上総利益	53,925	57,365
販売費及び一般管理費	44,183	46,301
営業利益	9,741	11,064
営業外収益		
受取利息	262	277
受取配当金	177	187
その他	109	132
営業外収益合計	549	597
営業外費用		
支払利息	332	307
持分法による投資損失	352	38
その他	357	529
営業外費用合計	1,042	875
経常利益	9,248	10,786
特別利益		
固定資産売却益	43	21
投資有価証券売却益	1	13
特別利益合計	45	35
特別損失		
固定資産除売却損	35	21
投資有価証券売却損	-	1
投資有価証券評価損	0	-
子会社事業再構築費用	101	180
関係会社整理損	20	0
その他	37	0
特別損失合計	196	204
税金等調整前四半期純利益	9,097	10,617
法人税等	3,106	3,632
四半期純利益	5,991	6,985
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,933	6,945

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5,991	6,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△458	109
繰延ヘッジ損益	22	55
為替換算調整勘定	△3,050	△3,922
退職給付に係る調整額	290	245
持分法適用会社に対する持分相当額	△135	107
その他の包括利益合計	△3,331	△3,404
四半期包括利益	2,659	3,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,645	3,517
非支配株主に係る四半期包括利益	13	64



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,097	10,617
減価償却費	3,856	4,408
のれん償却額	781	717
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	89
賞与引当金の増減額(△は減少)	△446	△505
退職給付に係る負債及び資産の増減額	△33	△71
受取利息及び受取配当金	△440	△464
支払利息	332	307
持分法による投資損益(△は益)	352	38
売上債権の増減額(△は増加)	10,663	12,096
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,262	△9,344
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,216	△4,338
その他	762	△1,025
小計	13,440	12,526
利息及び配当金の受取額	419	435
利息の支払額	△327	△315
法人税等の支払額	△5,098	△5,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,433	6,710
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△8	△788
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	1,001	1,546
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,478	△7,956
固定資産の取得による支出	△6,818	△3,550
貸付けによる支出	△935	△133
貸付金の回収による収入	117	60
その他	816	△206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,306	△11,029
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,578	40
長期借入れによる収入	1,849	13
長期借入金の返済による支出	△1,060	△190
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△2,699
配当金の支払額	△3,374	△3,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8	△6,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	△230	△364
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	888	△11,118
現金及び現金同等物の期首残高	49,263	47,977
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	1,611
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,151	38,470

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 (百万円)
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	92,046	55,753	36,078	183,878	33	183,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10	20	31	△31	—
計	92,046	55,763	36,099	183,909	1	183,911
セグメント利益	6,787	3,485	1,325	11,598	△1,856	9,741

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

## (1) 売上高

- ・その他の売上高 33百万円
- ・セグメント間取引消去 △31百万円

## (2) セグメント利益

- ・その他の利益 33百万円
- ・全社費用 △860百万円
- ・のれんの償却額 △781百万円
- ・その他の調整額 △248百万円
- ・セグメント間取引消去 △0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米…アメリカ、カナダ他

欧州…ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国・ アジア (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	103,669	56,360	36,499	2,606	199,136	31	199,167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	123	26	18	0	168	△168	—
計	103,792	56,387	36,517	2,606	199,304	△137	199,167
セグメント利益	8,832	2,700	1,349	△132	12,749	△1,685	11,064

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

## (1) 売上高

- ・その他の売上高 31百万円
- ・セグメント間取引消去 △168百万円

## (2) セグメント利益

- ・その他の利益 31百万円
- ・全社費用 △837百万円
- ・のれんの償却額 △716百万円
- ・その他の調整額 △162百万円
- ・セグメント間取引消去 0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 日本を除く各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
- 北米……………アメリカ、カナダ他
  - 欧州……………ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他
  - 中国・アジア……中国、香港、台湾、ベトナム

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加及び配賦方法の見直し)

上海宝産三和門業有限公司、三和シャッター（香港）有限公司、安和金属工業股分有限公司、VINA-SANWA COMPANY LIABILITY LTD. を連結の範囲に含めたことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントに「中国・アジア」を追加しております。

また、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、全社費用等の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益の算定方法の変更を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の利益の算定方法により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。